

Ⅲ 履修について

■ ビジネスキャリア学科

1 教育課程（カリキュラム） ビジネスキャリア学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数			
			1年		2年		必修	選択	自由	
			前期	後期	前期	後期				
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○				1		
		英語	15	○				1		
		中国語	15				○		2	
		韓国語	15			○			2	
	人間と社会	法律入門	15	○				2		
		現代の社会	15				○	2		
	人間と科学	情報処理	15	○				1		
		スポーツ科学	15	○					2	
	教養教育分野 計							7	6	
	専門教育分野	基礎科目	人間関係論	15		○				2
心理学			15		○				2	
ホスピタリティ論			15	○						2
プレゼンテーション演習			15		○			2		
情報処理応用演習			15		○			2		
東北学			15	○						2
地域連携概論			15			○				2
ビジネスマナー			15	○				2		
民法			15		○					2
金融リテラシー入門			15	○				2		
基幹科目		経済学	15		○			2		
		会計学	15			○		2		
		経営学	15	○				2		
		現代企業論	15		○			2		
		ビジネス実務総論	15			○		2		
		ビジネス法務入門	15				○		2	
		税金入門	15			○		2		
展開科目		ビジネス文書実務	15				○		2	
		秘書実務Ⅰ	15		○				2	
		秘書実務Ⅱ	15			○			2	
		情報テクノロジー	15		○				2	
		データサイエンス入門	15			○			2	
		情報処理実務	15				○		2	
		メディアデザイン論	15	○					2	
		広告デザイン演習	15		○				2	
		メディアコンテンツ演習	15			○			2	
		基礎簿記	15	○					2	
		上級簿記Ⅰ	15		○				2	
		上級簿記Ⅱ	15		○				2	
		簿記演習Ⅰ	15		○				2	
		簿記演習Ⅱ	15			○			2	
		社会保障論	15			○			2	
		医療事務入門	15	○					2	
		診療報酬請求演習Ⅰ	15		○				2	
		診療報酬請求演習Ⅱ	15			○			2	
		レセコン演習	15				○		2	
		コミュニケーション心理	15	○					2	
		ビジネス心理	15			○			2	
		ビジネスコミュニケーション	15				○		2	
		ビューティビジネス論	15				○		2	
		マーケティング	15	○					2	
		広告論	15				○		2	
		流通論Ⅰ	15		○				2	
		流通論Ⅱ	15		○				2	
スポーツビジネス論		15			○			2		
公務員対策Ⅰ		15	○					2		
公務員対策Ⅱ		15		○				2		
公務員対策Ⅲ	15		○				2			
公務員対策演習Ⅰ	15			○			2			
公務員対策演習Ⅱ	15			○			2			
専門教育分野 計							18	82		
演習分野	演習科目	インターンシップ	集中		○				1	
		基礎キャリア形成	15	○				1		
		数理基礎Ⅰ	15	○				1		
		数理基礎Ⅱ	15		○			1		
		実践キャリア形成Ⅰ	15		○			1		
		実践キャリア形成Ⅱ	15			○			1	
		社会人基礎力演習Ⅰ	15		○			1		
		社会人基礎力演習Ⅱ	15			○		1		
		ゼミナールⅠ	15		○				1	
		ゼミナールⅡ	15			○			1	
	ゼミナールⅢ	15				○		1		
演習分野 計							6	5		
総計（卒業要件62単位以上）							31	93		

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) ビジネスキャリア学科に2年以上在学すること

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は4年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目31単位及び選択科目31単位以上、合計62単位以上を「教養教育分野」、「専門教育分野」及び「演習分野」から以下のとおり修得すること。

教養教育分野	(必修) 7単位 (選択) 2単位以上
専門教育分野	(必修) 24単位
演習分野	(選択) 29単位以上
卒業要件：62単位以上	

3 卒業要件充足に伴う学位

ビジネスキャリア学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、短期大学士（ビジネスキャリア学）の学位が与えられます。

■ 観光ビジネス学科

1 教育課程（カリキュラム）

観光ビジネス学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数			
			1年		2年		必修	選択		
			前期	後期	前期	後期				
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○				1		
		英語Ⅰ	15	○				1		
		東北学	15			○		2		
		歴史と文化	15				○	2		
	人間と社会	法律入門	15			○		2		
		現代の社会	15				○	2		
		コミュニケーション論	15		○			2		
	人間と科学	情報処理	15	○				1		
		数理リテラシー	15	○				1		
専門教育分野	基礎科目	経営学入門	15	○				2		
		マーケティング	15		○			2		
		観光概論	15	○				2		
		観光ビジネス論	15		○			2		
		国内観光地理	15	○				2		
		国際観光論	15			○		2		
		観光史と観光文化	15				○	2		
		実践文章作成演習	15		○				1	
		フィールドワーク概論	15		○				2	
		金融リテラシー入門	15				○		2	
		基幹科目	英語Ⅱ	15		○			1	
			観光ビジネス英会話	15			○		2	
			ビジネスマナー	15	○				2	
	情報機器演習		15		○			1		
	展開科目	旅行ビジネス実務	15			○			2	
		エアラインビジネス実務	15	○					2	
		エアラインサービス	15	○ (集中)					2	
		鉄道ビジネス実務	15		○				2	
		宿泊ビジネス実務	15	○					2	
		ホテル・プライダルサービス	15		○				2	
		ホテル経営	15			○			2	
		プライダルビジネス実務	15			○			2	
		ウェディングプライダル演習	15		○				1	
		秘書実務	15		○				2	
		旅と文学	15			○			2	
		テーマパークビジネス	15				○		2	
		旅行業法	15	○					2	
		旅行業約款	15	○					2	
		国内運賃・旅費計算	15	○					2	
		国内観光資源	15			○			2	
旅行業務演習		15	○ (集中)					1		
海外観光地理		15				○		2		
旅程管理		15	○ (集中)					2		
東南アジアの言語と文化		15			○			2		
韓国語会話Ⅰ		15		○				1		
韓国語会話Ⅱ		15			○			1		
中国語会話Ⅰ		15			○			1		
中国語会話Ⅱ		15				○		1		
フランス語会話		15				○		1		
英会話基礎		15	○					1		
英会話応用		15		○				1		
観光英語		15	○					1		
TOEIC 演習		15		○				1		
おもてなし英語		15				○		2		
観光英語ガイド基礎		15			○			2		
観光インターンシップ		—	○ (集中)					1		
海外研修		—	○ (集中)					1		
演習分野	演習科目	基礎キャリア形成ゼミ	15	○				1		
		実践キャリア形成ゼミ	15		○			1		
		初年次ゼミ	15	○				1		
		観光研修Ⅰ	15		○			1		
		観光研修Ⅱ	15			○		1		
		観光ゼミⅠ	15		○			1		
		観光ゼミⅡ	15			○		1		
		観光ゼミⅢ	15				○	1		
総計（卒業要件62単位以上）							42	58		

Ⅲ 履修について

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) 観光ビジネス学科に2年以上在学すること。

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は4年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目42単位及び選択科目20単位以上を「教養教育分野」「専門教育分野」「演習分野」の中から以下の通り修得すること。

科目区分		単位数
教養教育分野		(必修) 14単位
専門教育分野	基礎科目	(必修) 14単位 (選択) ※1
	基幹科目	(必修) 6単位
	展開科目	(選択) ※2
演習分野	演習科目	(必修) 8単位
卒業要件：62単位以上		

※1 ※2 「基礎科目」「展開科目」の選択科目を合わせて20単位以上修得する

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

観光ビジネス学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、短期大学士（観光ビジネス学）の学位が与えられます。

Ⅲ 履修について

■ 現代英語学科

1 教育課程（カリキュラム）

現代英語学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数			
			1年		2年		必修	選択		
			前期	後期	前期	後期				
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○				1		
		国際文化	15	○				2		
		歴史と文化	15				○	2		
	人間と社会	心理学	15		○				2	
		法律入門	15				○	2		
		現代の社会	15				○	2		
	人間と科学	情報処理Ⅰ	15	○				1		
		情報処理Ⅱ	15		○				1	
	専門教育分野	専門基礎科目	Oral CommunicationⅠ	30	○				2	
Oral CommunicationⅡ			30		○			2		
ListeningⅠ			30	○				2		
ListeningⅡ			30		○			2		
Reading & VocabularyⅠ			30	○				2		
Reading & VocabularyⅡ			30		○			2		
Grammar & CompositionⅠ			30	○				2		
Grammar & CompositionⅡ			30		○			2		
専門展開科目		Oral CommunicationⅢ	30				○	2		
		Business Communication	15				○	2		
		Essay Writing	15				○	2		
		Media English	15				○		2	
		Public Speaking	15				○		2	
		Debating Skills	15				○		2	
		Extensive Reading	15		○				2	
		Advanced Reading	15				○		2	
		English for Tourism	15				○		2	
		Chorus English	15	○					2	
		Cinema English	15				○		2	
		Drama Workshop	15				○		2	
		海外研修	集中		○				2	
関連科目		ビジネスプロトコール	15	○				2		
		秘書実務	15		○				2	
		観光ビジネス論	15				○		2	
		エアラインサービス	15		○				2	
		フランス語Ⅰ	15		○				1	
		フランス語Ⅱ	15				○		1	
演習分野		演習科目	キャリア形成演習Ⅰ	15	○				1	
			キャリア形成演習Ⅱ	15		○			1	
			基礎ゼミ	15	○				1	
			総合演習Ⅰ	15		○			1	
			総合演習Ⅱ	15				○	1	
			総合演習Ⅲ	15				○	1	
			TOEIC Preparation	15		○				1
			STEP Preparation	15		○				1
総計（卒業要件62単位以上）							40	33		

専門展開科目：Public Speaking, Debating Skills より2単位以上を必修とする

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) 現代英語学科に2年以上在学すること。

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は4年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目40単位及び選択科目22単位以上、合計62単位以上を「教養教育分野」「専門教育分野」「演習分野」から修得すること。

科目区分		単位数
教養教育分野		(必修) 10 単位 (選択) 1 単位以上
専門教育分野	専門基礎科目	(必修) 16 単位
	専門展開科目	(必修) 6 単位 (選択) ※ 1
	関連科目	(必修) 2 単位 (選択) 4 単位以上
演習分野		(必修) 6 単位 (選択) ※ 2
卒業要件：62 単位以上		

※ 1 ※ 2 「専門展開科目」「演習分野」の選択科目を合わせて17単位以上修得する。

※専門展開科目のうち、Public SpeakingとDebating Skillsは必ずどちらかの単位を修得しなければならない。

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

現代英語学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、短期大学士(英語)の学位が与えられます。

看護学科

1 教育課程（カリキュラム） 看護学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次						単位数			
			1年		2年		3年		必修	選択		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期				
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○						1		
		英語	15	○						1		
		哲学入門	8		○					1		
	人間と社会	現代の社会	15	○						2		
		法律入門	15			○				2		
		生涯学習論	8			○				1		
		心理学概論	10		○					1		
		家族社会学	8		○					1		
	人間と科学	情報処理	15	○						1		
		自然科学入門	15	○						1		
		数理リテラシー	10	○						1		
		健康スポーツ科学	8			○				1		
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体構造と機能Ⅰ	8	○						1		
		人体構造と機能Ⅱ	10	○						1		
		人体構造と機能Ⅲ	15	○						1		
		人体構造と機能Ⅳ	15		○					1		
		生化学	10	○						1		
		微生物学	15	○						1		
	疾病の成り立ちと回復の促進	栄養学	8		○					1		
		病理学	8		○					1		
		病態治療学Ⅰ（検査・治療）	10		○					1		
		病態治療学Ⅱ（循環器）	10		○					1		
		病態治療学Ⅲ（消化器）	10		○					1		
		病態治療学Ⅳ（内分泌・泌尿・生殖器）	10		○					1		
		病態治療学Ⅴ（運動器・中枢・末梢神経）	10			○				1		
		病態治療学Ⅵ（血液・造血器・免疫）	10			○				1		
	健康支援と社会保障制度	病態治療学Ⅶ（呼吸器・感覚器）	10			○				1		
		看護薬理学	15		○					1		
		生命科学と医療倫理	10	○						1		
		人間関係論	8	○						1		
		保健行動学	8	○						1		
		公衆衛生学	8			○				1		
	専門教育分野	基礎看護学	チーム医療論	8			○			1		
			看護学概論	15	○					1		
			看護倫理	8		○					1	
			基礎看護技術Ⅰ	10	○						1	
		地域・在宅看護論	基礎看護技術Ⅱ	30	○						2	
			基礎看護技術Ⅲ	10		○					1	
			基礎看護技術Ⅳ	30		○					2	
			地域・在宅看護概論Ⅰ	8		○					1	
		領域横断看護	地域・在宅看護援助論Ⅰ	15			○				2	
			地域・在宅看護概論Ⅱ	8			○				1	
			地域・在宅看護援助論Ⅱ	23				○			2	
			看護展開論Ⅰ	8			○				1	
			看護展開論Ⅱ	23				○			2	
			看護展開論Ⅲ	23				○			2	
		成人看護学	健康状態別看護Ⅰ	8			○				1	
			健康状態別看護Ⅱ	15				○			2	
健康状態別看護Ⅲ			15				○			1		
老年看護学		成人看護学概論	8		○					1		
	成人看護学援助論Ⅰ	30			○				2			
	成人看護学援助論Ⅱ	15				○			1			
小児看護学	老年看護学概論	8		○					1			
	老年看護学援助論Ⅰ	10			○				1			
	老年看護学援助論Ⅱ	15				○			1			
母性看護学	小児看護学概論	8		○					1			
	小児看護学援助論Ⅰ	10			○				1			
	小児看護学援助論Ⅱ	15				○			1			
精神看護学	母性看護学概論	8		○					1			
	母性看護学援助論Ⅰ	10			○				1			
	母性看護学援助論Ⅱ	15				○			1			
看護の統合と実践	精神看護学概論	8		○					1			
	精神看護学援助論Ⅰ	10			○				1			
	精神看護学援助論Ⅱ	15				○			1			
臨地実習	医療安全管理論	8				○			1			
	災害看護	15				○			1			
	看護管理論・国際看護	8					○		1			
	看護研究Ⅰ	8					○		1			
	看護研究Ⅱ	8						○	1			
	基礎看護学実習Ⅰ	集中	○						1			
	基礎看護学実習Ⅱ	集中		○					1			
	地域・在宅看護論実習Ⅰ	集中				○			1			
地域・在宅看護論実習Ⅱ	集中					○		2				
領域横断看護実習	集中			○				3				
成人看護学実習	集中					○		3				
老年看護学実習	集中					○		3				
小児看護学実習	集中					○		2				
母性看護学実習	集中					○		2				
精神看護学実習	集中					○		2				
統合実習	集中						○	3				
総計（卒業要件103単位）										103	0	

Ⅲ 履修について

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) 看護学科に3年以上在学すること。

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は6年を超えることができません。
- 学長が特別な事情であると認める場合を除き、同一学年に2年を超えて在学することはできません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること

必修科目103単位を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から以下のとおり修得すること。

	教養教育分野	(必修) 14単位
専門教育分野	専門基礎分野	(必修) 22単位
	専門分野	(必修) 67単位
卒業要件：103単位		

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

看護学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、看護師国家試験の受験資格が得られるとともに、短期大学士（看護学）の学位が与えられます。

リハビリテーション学科

1 教育課程（カリキュラム）

リハビリテーション学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

【理学療法学専攻】

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次						単位数			
			1年		2年		3年		必修	選択	自由	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期				
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	10	○						1		
		コミュニケーション論	15		○					1		
		英語Ⅰ	10	○						1		
		英語Ⅱ	8	○						1		
		歴史と文化	10				○			1		
	人間と社会	大学生生活論	15		○					1		
		暮らしの中の法律	10				○			1		
		現代の社会	10	○						1		
		心理学概論	8		○					1		
		情報処理	10	○						1		
	人間と科学	生物学	8	○						1		
		物理学	8	○						1		
		健康スポーツ科学	15	○						2		
		解剖学	15	○						2		
		解剖学演習	15	○						1		
専門支持科目	人体の構造・機能と発達	解剖学実習	22		○					1		
		生理学Ⅰ（神経・運動・感覚）	15	○					2			
		生理学Ⅱ（内臓・代謝・血液）	15	○					1			
		生理学実習	22		○					1		
		運動学	15			○				2		
		運動学演習	15				○			1		
		運動学実習	22				○			1		
		人間発達学	15				○			1		
		病理学	8			○				1		
		医学概論	15			○				1		
	疾病の成り立ちと回復	内科学	15				○			1		
		神経学	30					○		2		
		臨床医学特論	8					○		1		
		小児科学	8				○			1		
		整形外科総論	15				○			1		
		整形外科各論	15				○			1		
		精神医学総論	15				○			1		
		老年学	8					○		1		
		臨床心理学	15				○			1		
		リハビリテーション栄養学	8				○			1		
	救急救命医学	15				○			1			
	保健医療福祉とリハビリテーション	公衆衛生学	8				○			1		
		社会福祉概論	8				○			1		
		医療関連法規	8				○			1		
	専門教育分野	基礎理学療法学	理学療法学概論	15	○						1	
運動療法基礎理論			15		○					1		
理学療法研究法			15					○		1		
理学療法管理学		理学療法管理学	15						○	2		
		基礎理学療法評価学概論	15		○					1		
理学療法評価学		基礎理学療法評価学実習	22		○					1		
		骨関節障害理学療法評価学実習	22				○			1		
		神経障害理学療法評価学実習	22				○			1		
		臨床理学療法評価学演習	30					○		2		
		骨関節障害理学療法学	30					○		2		
系統別理学療法学		骨関節障害理学療法演習	30					○		2		
		神経障害理学療法学	30					○		2		
		神経障害理学療法演習	30					○		2		
		内部障害理学療法学	30					○		2		
		内部障害理学療法演習	30					○		2		
		神経筋疾患理学療法学	15						○	1		
		発達障害理学療法学	15						○	1		
		物理療法学	15		○					1		
		物理療法演習	15		○					1		
		義肢装具学	15				○			1		
		義肢装具学演習	15				○			1		
		日常生活活動学	15	○						1		
		日常生活活動学演習	15		○					1		
		理学療法特論	15					○		1		
		臨床実習	臨床実習Ⅰ（体験実習）	1週		○					1	
臨床実習Ⅱ（評価実習）	4週						○		4			
臨床実習Ⅲ（総合実習）	7週							○	7			
臨床実習Ⅳ（総合実習）	7週							○	7			
地域理学療法実習	1週							○	1			
地域理学療法	地域理学療法学	15					○		1			
	地域理学療法演習	15					○		1			
	保健医療福祉連携論	15						○	1			
特別演習	専門支持科目特別演習	30						○	2			
	専門展開科目特別演習	30						○	2			
総計（卒業要件104単位以上）									104			

Ⅲ 履修について

【作業療法学専攻】

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次						単位数				
			1年		2年		3年		必修	選択	自由		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	10	○						1			
		コミュニケーション論	15		○					1			
		英語Ⅰ	10	○						1			
		英語Ⅱ	8	○						1			
		歴史と文化	10			○				1			
	人間と社会	大学生活論	15		○					1			
		暮らしの中の法律	10			○				1			
		現代の社会	10	○						1			
		心理学概論	8		○					1			
		情報処理	10	○						1			
	人間と科学	生物学	8	○						1			
		物理学	8	○						1			
		健康スポーツ科学	15	○						2			
		解剖学	15	○						2			
		解剖学演習	15	○						1			
専門支持科目	人体の構造・機能と発達	解剖学実習	22		○					1			
		生理学Ⅰ(神経・運動・感覚)	15	○						2			
		生理学Ⅱ(内臓・代謝・血液)	15	○						1			
		生理学実習	22		○					1			
		運動学	15		○					2			
		運動学演習	15			○				1			
		運動学実習	22		○					1			
		人間発達学	15		○					1			
		疾病の成り立ちと回復	病理学	8		○					1		
			医学概論	15		○					1		
			内科学	15			○				1		
			神経学	30			○				2		
			臨床医学特論	8			○				1		
			小児科学	8			○				1		
			整形外科総論	15			○				1		
	精神医学総論		15			○				1			
	精神医学各論		15				○			1			
	老年学		8				○			1			
	臨床心理学		15			○				1			
	リハビリテーション栄養学		8			○				1			
	救急救命医学		15			○				1			
	保健医療福祉とリハビリテーション		公衆衛生学	8			○				1		
			社会福祉概論	8		○					1		
		医療関連法規	8				○			1			
		リハビリテーション概論	15	○						1			
		作業療法概論	15	○						1			
	基礎作業療法学	作業科学	8	○						1			
		作業療法理論	15			○				1			
		基礎作業学演習	30		○					2			
		作業療法研究法	15				○			1			
		作業療法管理学	8				○			1			
		作業療法評価学	作業療法管理学演習	10					○		1		
			作業療法評価学原論	8	○						1		
			身体機能作業療法評価学実習	22		○					1		
			精神機能作業療法評価学実習	22		○					1		
			疾患別作業療法評価学実習Ⅰ	22				○			1		
			疾患別作業療法評価学実習Ⅱ	22				○			1		
		作業療法治療学	作業療法治療学	10	○						1		
			作業療法治療学演習	15		○					1		
			身体機能作業療法実習	22			○				1		
			精神機能作業療法実習	22			○				1		
	病期別作業療法実習Ⅰ		22				○			1			
	病期別作業療法実習Ⅱ		22				○			1			
	病期別作業療法実習Ⅲ		22				○			1			
	作業療法基礎演習		15		○					1			
作業療法応用演習	15					○			1				
作業療法総合演習	15						○		1				
高次神経障害作業療法学	15					○			1				
日常生活活動学	15			○					1				
社会生活行為学演習	15					○			1				
義肢装具学	15					○			1				
臨床作業療法演習Ⅰ	30			○					2				
臨床作業療法演習Ⅱ	30					○			2				
臨床作業療法演習Ⅲ	15						○		1				
臨床実習	臨床実習Ⅰ(体験実習)		2週		○					2			
	臨床実習Ⅱ(評価実習)		6週				○			6			
	臨床実習Ⅲ(総合実習)		7週					○		7			
	臨床実習Ⅳ(総合実習)	7週					○		7				
	地域作業療法実習	1週					○		1				
地域作業療法	地域リハビリテーション論	8		○					1				
	職業リハビリテーション論	15				○			2				
	保健医療福祉連携論	15					○		1				
特別演習	専門支持科目特別演習	30					○				2		
	専門展開科目特別演習	30					○				2		
総計(卒業要件104単位以上)									104		4		

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) リハビリテーション学科に3年以上在学すること。

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は6年を超えることができません。
- 学長が特別な事情であると認める場合を除き、同一学年に2年を超えて在学することはできません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること。

【理学療法学専攻】

必修科目104単位を「教養教育分野」「専門教育分野」から以下のとおり修得すること。

教養教育分野	人間と文化		5単位
	人間と社会		4単位
	人間と科学		5単位
専門教育分野	専門支持科目	人体の構造・機能と発達	31単位
		疾病の成り立ちと回復	
		保健医療福祉とリハビリテーション	
	専門展開科目	基礎理学療法学	3単位
		理学療法管理学	2単位
		理学療法評価学	6単位
		系統別理学療法学	21単位
		臨床実習	20単位
		地域理学療法	3単位
特別演習	4単位		
卒業要件：104単位			

【作業療法学専攻】

必修科目104単位を「教養教育分野」「専門教育分野」から以下のとおり修得すること

教養教育分野	人間と文化		5単位
	人間と社会		4単位
	人間と科学		5単位
専門教育分野	専門支持科目	人体の構造・機能と発達	31単位
		疾病の成り立ちと回復	
		保健医療福祉とリハビリテーション	
	専門展開科目	基礎作業療法学	6単位
		作業療法管理学	2単位
		作業療法評価学	5単位
		作業療法治療学	19単位
		臨床実習	23単位
		地域作業療法	4単位
卒業要件：104単位			

Ⅲ 履修について

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

リハビリテーション学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、理学療法士または作業療法士国家試験の受験資格が得られるとともに、短期大学士（理学療法学）または短期大学士（作業療法学）の学位が与えられます。

Ⅲ 履修について

言語聴覚学科

1 教育課程（カリキュラム）

言語聴覚学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次						単位数				
			1年		2年		3年		必修	選択	選択		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○						1			
		英語Ⅰ	15	○						1			
		英語Ⅱ	15		○					1			
		英文抄読	15			○				1			
		基礎英会話	10					○		1			
	人間と社会	歴史と文化	10	○						1			
		現代の社会	10	○						1			
		暮らしの中の法律	10		○					1			
	人間と科学	大学生活論	15		○					1			
		情報処理	15		○					1			
		統計学	15			○				1			
		健康スポーツ学Ⅰ	15			○				1			
健康スポーツ学Ⅱ		10					○		1				
専門教育分野	基礎医学	医学概論	15	○						1			
		病理学	15	○						1			
		解剖学	15	○						1			
		生理学	15		○					1			
		臨床医学	内科学	15			○				1		
			臨床神経学	15			○				1		
			小児科学	15		○					1		
			精神医学	15			○				1		
			リハビリテーション医学	15			○				1		
			耳鼻咽喉科学	15			○	○			1		
			形成外科学	15			○				1		
		臨床歯科医学	臨床歯科医学・口腔外科学	15		○					1		
		音声・言語・聴覚医学	呼吸発声発語系の構造・機能・病態	15	○						1		
			聴覚系の構造・機能・病態	15	○						1		
			神経系の構造・機能・病態	15	○						1		
	心理学	臨床心理学	15		○					1			
		生涯発達心理学	15			○				1			
		神経心理学	15					○		1			
		心理測定法	15			○				1			
		福祉心理学	15			○				1			
		認知・学習心理学	15	○						1			
		心理学系総論	15					○		1			
		言語学	言語学	15		○					1		
			日本語文法学	15					○		1		
		音声学	音声学	15	○						1		
	音声表記・分析学		15		○					1			
	音響学	音響学	15		○					1			
		聴覚心理学	15		○					1			
	言語発達学	言語発達学	15		○					1			
		言語発達学	15		○					1			
	社会福祉・教育	社会保障制度・関係法規	15			○				1			
		リハビリテーション論	15			○				1			
	専門展開科目	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学の基礎	15	○						1		
			言語聴覚障害学診断学	15			○				1		
			言語聴覚障害学総論	15					○		1		
			言語聴覚障害学臨床応用	15					○		1		
		失語症・高次脳機能障害学	失語症概論	15		○					1		
			高次脳機能障害概論	15		○					1		
			失語症・高次脳機能障害Ⅰ	15		○					1		
			失語症・高次脳機能障害Ⅱ	30			○				2		
			高次脳機能学総論	15					○		1		
		言語発達障害学	言語発達障害Ⅰ	15		○					1		
			言語発達障害Ⅱ	30			○				2		
			脳性麻痺・運動発達の障害	15		○					1		
			学習障害・発達障害	15		○					1		
拡大・代替コミュニケーション			15			○				1			
発声発語・嚥下障害学		音声障害	15			○				1			
	器質性・機能的構音障害	15			○				1				
	運動障害性構音障害Ⅰ	15		○					1				
	運動障害性構音障害Ⅱ	30			○				2				
	吃音概論	15			○				1				
	摂食嚥下障害Ⅰ	15		○					1				
	摂食嚥下障害Ⅱ	30			○				2				
	成人・小児の聴覚障害	15	○						1				
聴覚障害学	聴能・発語訓練演習	15				○			1				
	聴力検査	15		○					1				
	視覚聴覚二重障害・重複障害	15		○					1				
	補聴器・人工内耳	15			○				1				
	聴覚障害学総論	15					○		1				
	音と聴力	15					○		1				
	臨床実習	臨床実習Ⅰ（見学実習）	1週		○					1			
臨床実習Ⅱ（評価実習）		3週				○			3				
臨床実習Ⅲ（総合実習前期）		4週					○		4				
臨床実習Ⅳ（総合実習後期）		4週					○		4				
専門独自科目		自然科学概論	15	○						1			
	生命科学の基礎	15					○		1				
	口腔顔面の感覚・運動障害総論	15					○		1				
	地域リハビリテーション論	15					○		1				
	認知症のリハビリテーション	15					○		1				
	神経の診かた	15			○				1				
	動作分析の基礎	15			○				1				
	疾病論	15					○		1				
	口腔衛生論	15				○			1				
	リハビリテーション栄養学	15					○		1				
	保険診療・介護保険制度	15				○			1				
	視覚言語論	15					○		1				
	補綴・補装具論	15					○		1				
	言語聴覚学特別講義Ⅰ	30					○				2		
	言語聴覚学特別講義Ⅱ	30					○				2		
	総計（卒業要件98単位以上）									96	5	4	

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

- (1) 言語聴覚学科に3年以上在籍すること。
 - 休学期間は在学期間を含めません。
 - 在学期間は6年を超えることができません。

- (2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目96単位及び選択科目2単位以上、合計98単位以上を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から以下のとおり修得すること。

単位区分		単位
教養教育分野		(必修) 13単位
専門教育分野	専門支持科目	(必修) 31単位
	専門展開科目	(必修) 44単位
	専門独自科目	(必修) 8単位 (選択) 2単位以上
卒業要件：98単位以上		

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

言語聴覚学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、言語聴覚士国家試験の受験資格を得られるとともに、短期大学士（言語聴覚学）の学位が与えられます。

歯科衛生学科

1 教育課程（カリキュラム）

歯科衛生学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次						単位数			
			1年		2年		3年		必修	選択		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期				
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○						1		
		英語Ⅰ	15			○				1		
		英語Ⅱ	10					○		1		
		医療手話	10						○	1		
	人間と社会	法律入門	15	○						2		
		現代の社会	15		○					2		
		コミュニケーション演習	10		○					1		
	人間と科学	心理学	10	○							1	
		情報処理	15	○						1		
化学		10	○							1		
	スポーツレクリエーション	10						○		1		
専門支持科目	人体の構造と機能	解剖学	15	○						2		
		生理学	15	○						1		
		組織発生学	10	○						1		
	歯・口腔の構造と機能	口腔解剖学	20		○					2		
		口腔生理学	15		○					2		
		歯牙解剖学	10		○					1		
	疾病の成り立ちと回復	病理学	15		○					1		
		微生物学	15		○					1		
		薬理学	15		○					1		
		栄養学	10	○						1		
		生化学	10			○				1		
	健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	一般臨床医学	10					○		1		
		衛生学・公衆衛生学	15	○						1		
		口腔衛生学	30		○					2		
		地域保健・保健統計	20			○				2		
		衛生行政・社会福祉・社会保障	20			○				2		
		人間関係論	10					○			1	
	専門教育分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	15	○						2	
		臨床歯科医学	歯内療法学	10		○					1	
			保存修復学	10		○					1	
歯周療法学			15				○			1		
歯科補綴学			15			○				1		
口腔外科学			15			○				1		
歯科矯正学			15			○				1		
小児歯科学			15			○				1		
高齢者口腔保健学			10			○				1		
障害者口腔保健学			10				○			1		
歯科放射線学			15			○				1		
口腔衛生管理			10					○			1	
歯科予防処置論		歯科予防処置法	30		○					2		
		う蝕予防処置法（臨床基礎）	10			○				1		
		歯周病予防法（臨床基礎）	30				○			2		
		う蝕予防処置法（臨床応用）	10					○		1		
		歯周病予防法（臨床応用）	20						○	2		
歯科保健指導論		保健指導論	15	○						1		
		保健指導演習Ⅰ（臨床基礎）	15		○					1		
		保健指導演習Ⅱ（臨床応用）	30				○			2		
		保健指導演習Ⅲ（臨床総合）	30					○		2		
		口腔リハビリテーション論	10				○			1		
		口腔リハビリテーション演習	10					○			1	
歯科診療補助論		歯科診療補助法（基礎知識）	20	○						2		
		歯科診療補助演習Ⅰ（基本技術）	20		○					2		
		歯科診療補助演習Ⅱ（臨床技術）	30				○			2		
		歯科診療補助演習Ⅲ（臨床総合）	20					○		2		
		感染予防法	10	○						1		
		臨床検査法	10				○			1		
		救急法・救急蘇生法	15						○	1		
	介護技術の基礎	15				○			1			
実習	審美歯科演習	10						○		1		
	臨地実習Ⅰ（臨床基礎）	集中		○					4			
	臨地実習Ⅱ（臨床応用）	集中				○			8			
	臨地実習指導（臨床応用）	15				○			1			
	臨地実習Ⅲ（臨床総合）	集中						○	8			
特別科目	臨地実習指導（臨床総合）	15						○	1			
	歯科衛生研究法Ⅰ（臨床基礎）	15					○			1		
	歯科衛生研究法Ⅱ（臨床応用）	15						○		1		
総計（卒業要件100単位以上）										93	9	

Ⅲ 履修について

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) 歯科衛生学科に3年以上在学すること。

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は6年を超えることができません。
- 学長が特別な事情であると認める場合を除き、同一学年に2年を超えて在学することはできません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目93単位及び選択科目7単位以上、合計100単位以上を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から修得すること。

【卒業要件100単位以上のうち規定されている93単位】

科目区分		単位数
教養教育分野（必修）		10単位
専門教育分野	専門支持科目	(必修) 22単位
	専門展開科目	(必修) 61単位

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

歯科衛生学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、歯科衛生士国家試験の受験資格が得られるとともに、短期大学士（歯科衛生学）の学位が与えられます。

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) 栄養学科に2年以上在学すること。

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は4年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目62単位及び選択科目2単位以上、合計64単位以上を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から以下のとおり修得すること。

科目区分		単位数
教養教育分野		(必修) 8単位 (選択) 2単位以上
専門教育分野	専門支持科目	(必修) 12単位
	専門基礎科目	(必修) 17単位
	専門展開科目	(必修) 19単位
	実践科目	(必修) 6単位
卒業要件：64単位以上		

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

栄養学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、栄養士の資格を取得できるとともに、短期大学士（栄養学）の学位が与えられます。

1 教育課程（カリキュラム）

こども学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数		
			1年		2年		必修	選択	
			前期	後期	前期	後期			
教養教育分野	人間と文化 ※ 3単位必修	英語Ⅰ	15	○				1	
		英語Ⅱ	15		○			1	
		日本語表現法	15	○				1	
	人間と社会 ※ 6単位必修	日本国憲法	15	○				2	
		現代の社会	15	○				2	
		法律入門	15		○			2	
	人間と科学 ※ 4単位必修	体育基礎	8	○				1	
		体育実技	15		○			1	
		情報処理Ⅰ	15	○				1	
		情報処理Ⅱ	15				○	1	
		レクリエーション論	8	○					1
	専門教育分野	幼児教育の基礎 ※ 4単位以上選択	幼児と環境	15	○				2
幼児と健康			8		○			1	
幼児と表現			15	○				2	
幼児と人間関係			8		○			1	
基礎技能 ※ 2単位以上選択		音楽表現Ⅰ	15	○				1	
		音楽表現Ⅱ	15		○			1	
		音楽表現Ⅲ	15				○	1	
		造形表現	15		○			1	
		総合表現演習Ⅰ	15		○			1	
		総合表現演習Ⅱ	15				○	1	
教育及び保育の本質 ※ 6単位必修		教職論	15		○			2	
		保育原理	15		○			2	
		教育原理	15	○				2	
		社会福祉	15	○				2	
教育及び保育の制度 ※ 2単位以上選択		教育制度論	8	○				1	
		子ども家庭福祉	15	○				2	
		社会的養護Ⅰ	15		○			2	
教育及び保育の対象理解 ※ 3単位必修		子ども理解の理論と方法	15	○				1	
		生涯発達心理学Ⅰ	15		○			2	
		生涯発達心理学Ⅱ	15				○	2	
		乳児保育Ⅰ	15				○	2	
教育及び保育の計画と方法 ※ 12単位必修		カリキュラム論	15				○	2	
		保育内容の指導法（総論）	15	○				1	
		保育内容の指導法（健康）	15				○	1	
		保育内容の指導法（人間関係）	15				○	1	
		保育内容の指導法（環境）	15		○			1	
		保育内容の指導法（言葉）	15		○			1	
		保育内容の指導法（表現）	15				○	1	
		特別支援教育演習Ⅰ	15		○			1	
		特別支援教育演習Ⅱ	15				○	1	
		乳児保育Ⅱ	15				○	1	
		教育相談	15				○	1	
		教育方法論	15				○	2	
		社会的養護Ⅱ	15				○	1	
		子どもの保健	15		○			2	
		子どもの健康と安全	15				○	1	
	家庭支援論	15				○	2		
	子どもの食と栄養	30				○	2		
	子育て支援	15				○	1		
総括科目	保育・教職実践演習（幼稚園）	15				○	2		
実習	保育実習Ⅰ（保育所）	集中				○	2		
	保育実習Ⅰ（施設）	集中				○	2		
	保育実習指導Ⅰ	15				○	2		
	保育実習Ⅱ	集中				○	2		
	保育実習指導Ⅱ	15				○	1		
	保育実習Ⅲ	集中				○	2		
	保育実習指導Ⅲ	15				○	1		
	教育実習Ⅰ	集中		○			1		
	教育実習指導Ⅰ	10		○			1		
	教育実習Ⅱ	集中				○	3		
教育実習指導Ⅱ	15				○	1			
特別科目	基礎演習Ⅰ	30		○			2		
	基礎演習Ⅱ	30				○	2		
総計（卒業要件62単位以上）							38	55	

※本学では「保育実習Ⅱ」と「保育実習指導Ⅱ」を履修することができる。

Ⅲ 履修について

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) こども学科に2年以上在学すること

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は4年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること

必修科目38単位及び選択科目24単位以上、合計62単位以上を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から修得すること

ただし、卒業要件となる62単位以上のうち、46単位については、下表に定める科目区分ごとの単位数を修得しなければなりません。

※資格取得に必要な単位は、卒業に必要な単位とは別に規定されています。履修規程を参照してください。

【卒業要件62単位以上のうち規定されている46単位】

科目区分		単位数
教養教育分野		(必修) 13単位
専門教育分野	幼児教育の基礎	(選択) 4単位
	基礎技能	(選択) 2単位
	教育及び保育の本質	(必修) 6単位
	教育及び保育の制度	(選択) 2単位
	教育及び保育の対象理解	(必修) 3単位
	教育及び保育の計画と方法	(必修) 12単位
	ゼミナール	(必修) 4単位

3 卒業要件充足に伴う学位

こども学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、短期大学士（こども学）の学位が与えられます。

救急救命学科

1 教育課程（カリキュラム）

救急救命学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数				
			1年		2年		必修	選択	自由		
			前期	後期	前期	後期					
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○				1			
		英語	15		○			1			
	人間と社会	現代の社会	15		○			2			
		法律入門	15		○			2			
	人間と科学	情報処理	15		○			1			
		数理リテラシー	15			○		1			
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖生理学	8	○				1			
		人体構造と機能Ⅰ	8	○				1			
		人体構造と機能Ⅱ	8	○				1			
		人体構造と機能Ⅲ	8	○				1			
	疾患の成り立ちと回復の過程	薬理学	8	○				1			
		病理学	8		○			1			
		微生物学	8		○			1			
		法医学	8				○	1			
	健康と社会保障	社会保障論	8		○			1			
		地域福祉論	8			○		1			
	専門教育分野	救急医学概論	医学概論	10	○				1		
			救急救命医療概論	20	○				2		
			救急救命処置概論	20		○			2		
			感染症と災害医療	10				○	1		
救急症候・病態生理学		救急病態生理学	20	○				2			
		救急症候学Ⅰ	20	○				2			
		救急症候学Ⅱ	20		○			2			
		救急症候学Ⅲ	20		○			2			
疾病救急医学		疾病救急医学Ⅰ	20	○				2			
		疾病救急医学Ⅱ	20	○				2			
		疾病救急医学Ⅲ	20		○			2			
		疾病救急医学Ⅳ	20		○			2			
外傷救急医学		外傷学Ⅰ	20	○				2			
		外傷学Ⅱ	20		○			2			
環境障害・急性中毒学	環境障害・急性中毒学	10			○		1				
臨地実習	救急救命シミュレーションⅠ	75	○				5				
	救急救命シミュレーションⅡ	75		○			5				
	救急救命シミュレーションⅢ	75			○		5				
	救急救命シミュレーションⅣ	75				○	5				
	臨床実習	20日				○	4				
	救急用自動車同乗実習	5日				○	1				
総計（卒業要件70単位）							70	-	-		

Ⅲ 履修について

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

- (1) 救急救命学科に2年以上在籍すること。
 - 休学期間は在学期間を含めません。
 - 在学期間は4年を超えることができません。

- (2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目70単位を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から以下のとおり修得すること。

単位区分		単位
教養教育分野		(必修) 8単位
専門教育分野	専門基礎科目	(必修) 10単位
	専門展開科目	(必修) 52単位
卒業要件：70単位		

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

救急救命学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、救急救命士国家試験の受験資格を得られるとともに、短期大学士（救急救命学）の学位が与えられます。

また、救急救命学科において「社会保障論」「地域福祉論」「医学概論」の単位を修得し卒業することで、社会福祉主事任用資格を取得することができます。社会福祉主事任用資格は、地方公務員として社会福祉の増進に携わる際等に求められる任用資格です。資格取得のための手続きや資格証等はなく、学業成績証明書および卒業証明書をもって、社会福祉主事の資格要件を満たしている旨を証明することになります。